

日本学術会議（化学委員会・分析化学分科会）企画講演会

日本学術会議・日本分析機器工業会・日本分析化学会・
科学技術振興機構 共同主催 （協賛：日本化学会）

「ナノ素材とナノ計測が拓くイノベーション」

平成26年12月18日(木曜日)

最先端の分析技術および機器開発を進めることは、我が国の独創的なものづくりと先端科学研究開発に重要です。この講演会ではナノ材料やナノ測定を中心に、産官学がどのようにナノテクノロジーの持つポテンシャルを広げていくのかを紹介し、議論します。学生、教職員、企業の開発者などの積極的な参加を期待しております。

(12時半より受付開始) (参加は無料です)

講演内容：(各講演は30分、質問5分) (講演者敬称略)

13:00-13:10

はじめに：「産官学共同で進める最先端分析技術および機器開発拠点構想」

鈴木孝治：慶應義塾大学理工学部・教授

(日本学術会議・化学委員会・分析化学分科会委員長)

13:10-13:45

講演1：「ナノテクノロジーを活用したイノベーション創出に向けて - 何が必要か -」

一村信吾：名古屋大学・イノベーション戦略室長

(日本学術会議・化学委員会・分析化学分科会委員)

13:45-14:20

講演2：「金ナノ粒子の触媒作用と応用：今後何を知る(測る) 必要があるか」

春田正毅：首都大学東京大学院都市環境科学研究科・教授

14:20-14:55

講演3：「単層カーボンナノチューブの新たな産業展開と、ナノ素材計測への期待」

荒川公平：日本ゼオン株式会社・最高経営技監

15:10-15:45

講演4：「ナノ材料規制に向けた計測技術・装置開発—COMS-NANO活動について—」

吉田佳一：株式会社島津製作所・常務執行役員

15:45-16:20

講演5：「ナノ素材計測に向けた共通プラットフォームの構築と展開」

藤田大介：独立行政法人物質材料研究機構 先端的共通技術
部門・部門長

16:20-16:55

講演6：「放射光を用いたナノ材料の極限計測」

高田昌樹：独立行政法人理化学研究所、放射光科学総合研究
センター・主任研究員、東京大学・教授

16:55-17:00

終わりに：「ナノ計測と分析化学」

尾嶋正治：東京大学・名誉教授

(日本学術会議・化学委員会・分析化学分科会委員)

場所：**日本学術会議講堂（東京、乃木坂）** 地図：<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

〒106-0032 東京都港区六本木7丁目2-2-34

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口より徒歩2分

対象：**主に学生、教職員、企業の開発者、一般の方も聴講できます。定員300名（先着順）**

日時：**平成26年12月18日木曜日（12時半より受付開始）**

参加登録は不要ですので、直接会場においでください。参加費は無料です。

連絡先：**慶應義塾大学理工学部応用化学科・教授 鈴木孝治**

E-Mail: Suzuki@applc.keio.ac.jp Fax: 045-566-1568